

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和2年8月25日	担当部署	産業観光交流部 施設経営管理室
-------	-----------	------	-----------------

※以下は令和2年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	一般財団法人 糸しんの里観光公社		
代表者	理事長 渡邊 信夫		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市板倉区米増27番地4		
設立年月日	平成元年4月27日		
基本金	30,000千円	市出捐割合	85.0%
設立目的	光ヶ原高原を中心として地域に潜在している観光資源を掘り起こし、それを有効に活用しながら地域の魅力を広く普及する観光事業に努め、潤いと活力ある地域づくりに寄与する。		
主な事業	(1) 光ヶ原高原グリーンパル光原荘における食堂運営 (2) 光ヶ原高原グリーンパル光原荘の管理業務の受託、信越トレイルの情報発信 (3) 板倉そば打ち体験交流施設いたくら亭の経営 (4) 糸しんの里記念館の管理運営業務 (5) 観光情報の発信及び宣伝活動（観光パンフレット及びチラシの作成、報道機関への情報提供） (6) 各種観光イベントの開催及び参加 (7) 上越観光コンベンション協会等と連携して行う観光客の誘致活動		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	0	10	10	1	0	9
監事	0	2	2	0	0	2
計	0	12	12	1	0	11

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	2	2	0
その他	7	7	0
計	9	9	0

5 事業実績（概要）

【令和元年度の経営状況】

- ・ 令和元年度の経常収益は、前年度と比較して5,439千円減（12.6%の減）の37,609千円となりました。このうち、基本財産運用益は、前年度と同額の363千円となりましたが、事業収益は、ゑしんの里記念館での売店売上が減少したことなどにより、前年度と比較して1,958千円減（8.4%の減）の21,279千円となりました。
- ・ 経常費用は、前年度と比較して1,631千円減（4.0%減）の38,876千円となりました。
- ・ この結果、当期一般正味財産増減額は△1,496千円となり、令和元年度末の正味財産期末残高は44,666千円となりました。

【令和元年度の事業概要】

ゑしんの里記念館

- ・ 記念館としての役割を維持しつつ、施設環境をいかし、東西本願寺等の冊子や機関紙等への記事・広告の掲載を行いました。
- ・ 令和2年10月に開催予定の恵信尼750回忌の法要に向けて、内外の関係団体と深く連携しながら、関連団体の機関紙に投稿、広告等を掲載し、集客活動を行いました。

そば打ち体験交流施設いたくら亭

- ・ 中山間地域の生産者と協力し、板倉そばのブランド化に向けた取組を促進しました。
- ・ 各種イベントの実施及び新メニュー開発により、板倉そばの販売拠点として知名度の向上に向けた活動を行いました。

光ヶ原高原グリーンパル光原荘

- ・ 信越トレイル利用者向けのサービス向上を図るため、信越トレイルクラブやゑしんの里やすらぎ荘等との連携など、利用促進に向けた活動を行いました。

【各施設の利用実績】

（単位：人）

施設名	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年比
ゑしんの里記念館	目標	13,000	13,000	11,000	△2,000
	うち 自主事業	2,000	2,000	2,000	0
	実績	10,733	11,344	8,571	△2,773
	うち 自主事業	8,650	5,576	3,092	△2,484
そば打ち体験 交流施設いたくら亭	目標	14,000	14,000	14,800	800
	実績	13,928	13,922	14,068	146
光ヶ原高原 グリーンパル光原荘	目標	2,000	2,000	2,300	300
	実績	1,438	1,225	1,205	△20

- ・ ゑしんの里記念館の利用者数は、多目的ホールや和室の利用件数の減少などにより、前年度と比較して2,773人減（24.4%の減）の8,571人となり、開館以来初の1万人を割り込みました。
- ・ そば打ち体験交流施設いたくら亭の利用者数は、前年度比146人増（1.0%増）の14,068人となりました。
- ・ 光ヶ原高原グリーンパル光原荘の利用者数は、前年度比20人減（1.6%減）の1,205人となりました。

6 財務状況（税込）

（単位：千円）

項目		平成29年度 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	平成30年度 自平成30年4月1日 至平成31年3月31日	令和元年度 自平成31年4月1日 至令和2年3月31日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	經常収益	43,216	43,048	37,609
	基本財産運用益	181	363	363
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	0	0	0
	事業収益	22,924	23,237	21,279
	受取補助金等	20,051	19,409	15,946
	その他經常収益	60	40	20
	經常費用	44,218	40,507	38,876
	事業費	40,575	37,507	35,969
	管理費	3,644	3,000	2,907
	当期經常増減額	△1,002	2,541	△1,267
	經常外収益	0	0	0
	經常外費用	137	120	103
	当期經常外増減額	△137	△120	△103
	税引前当期一般正味財産増減額	△1,139	2,421	△1,370
	法人税等	98	126	126
	当期一般正味財産増減額	△1,237	2,296	△1,496
	一般正味財産期首残高	15,103	13,866	16,161
	一般正味財産期末残高	13,866	16,161	14,666
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	30,000	
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	30,000	
正味財産期末残高	43,866	46,161	44,666	
項目	平成30年3月31日現在	平成31年3月31日現在	令和2年3月31日現在	
貸借対照表	資産	56,129	56,849	53,663
	負債	12,264	10,688	8,997
	正味財産	43,866	46,161	44,666
	指定正味財産	30,000	30,000	30,000
	一般正味財産	13,866	16,161	14,666

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内訳		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
①	ゑしんの里記念館 指定管理委託料	16,990	16,920	13,275	
②	グリーンパル光原荘等 管理業務委託料	2,661	2,088	2,271	
③					
④					
⑤					
計		19,651	19,008	15,546	

(2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内訳		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
①	補助金（助成金）	400	400	400	観光事業補助金
②	貸付金				
③	損失補償				
④	債務保証				
⑤	その他（ ）				
計		400	400	400	

8 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

情報発信を幅広く行い、近隣地域とも連携を図った企画を実施するとともに、各施設においては、集客を目指し、次の取組を強化します。

- ゑしんの里記念館
 - ・ 宴会、法要など地域住民の利用促進を図り、多目的ホール等を利用した賑わいを創出します。
- そば打ち体験交流施設いたくら亭
 - ・ そば打ち体験施設を維持しつつ、そば専門店として地域一番店を目指します。
- 光ヶ原高原グリーンパル光原荘
 - ・ 信越トレイル等利用者向けに特化した活動を促進します。

【令和2年度集客目標】

（単位：人）

ゑしんの里記念館	14,500
そば打ち体験交流施設いたくら亭	15,200
光ヶ原高原グリーンパル光原荘	2,300

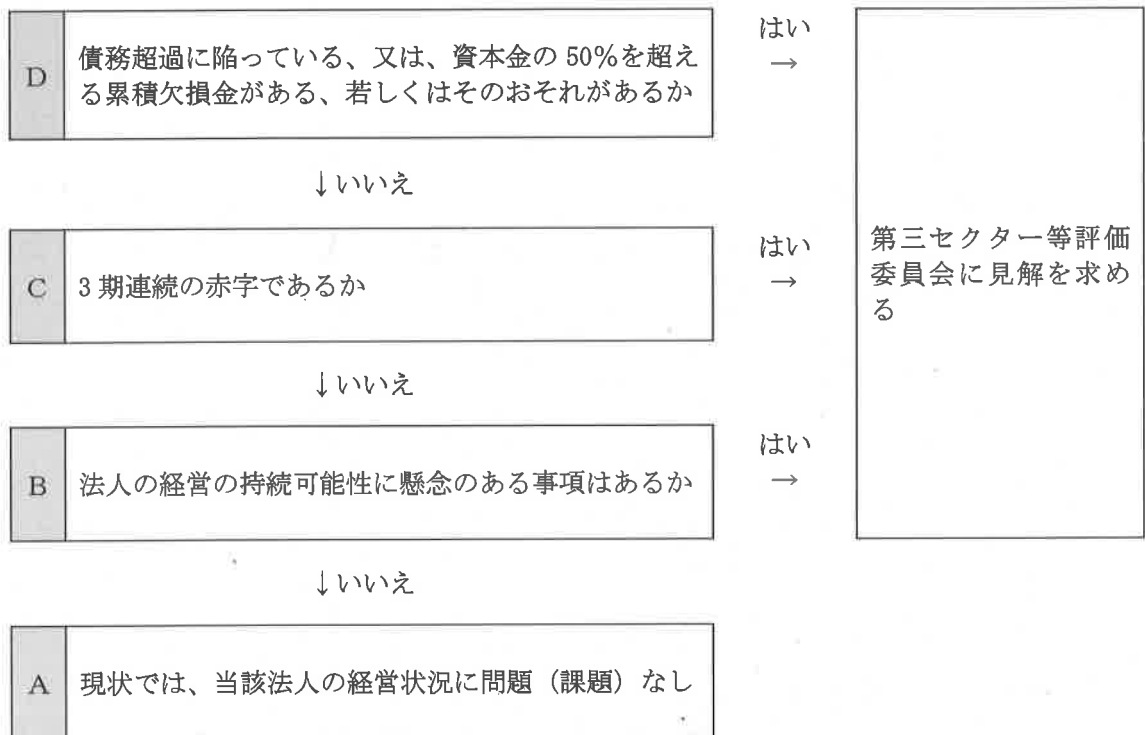
(2) 中長期経営計画

なし

9 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



	フローチャートによる評価基準	備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
【特記事項】		

令和元年度 一般財団法人 ゑしんの里観光公社事業報告
(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

1 事業評価

(1) 管理運営実績

- ① 板倉観光の活動につきましては、ホームページを中心に各種団体の協力を下に、各種イベント、観光施設の季節毎催しの紹介等内容の充実を図り、発信しましたが、思うような集客につながりませんでした。
- ② 指定管理事業の「ゑしんの里記念館の管理運営」については、記念館としての役割を維持しつつ施設環境を生かし、東西本願寺等の冊子、機関紙等の記事、広告等の掲載にもかかわらず参拝団体客の減少により昨年を大きく減じました。
- ・イベント及び法要・宴会等にご利用いただけるよう働きかけているところです。
 - ・また、2020年10月に行われます、恵信尼750回忌の法要に向けて内外の関係団体と深く連携し合いながら、東西の仏教団体の機関紙に投稿、広告等を掲載し、集客活動の取組みを加速してまいります。
 - ・利用者数、収益面共前年より大きく減じました。
 - ・具体的なイベント実績は、(別紙2利用状況書、別紙3自主事業実施状況書を参照下さい。)
- ② 「そば打ち体験交流施設いたくら亭」については、板倉区の中山間地農業振興会、どうがた特産物生産組合と連携し、光ヶ原高原そばのブランド化進めています。
- そばの作付面積が広がり、農業生産の一角を占めており、新そば祭り、寒ざらし蕎麦まつり、そば花祭りなどのイベントを実施、認識されつつあります。
- ・板倉亭において、メニュー開発に取り組み、板倉そばの販売拠点として、ブランド化に活動しています。
 - ・そば打ち体験は、食品衛生上からいたくら亭では厳しくなっていますが、区内のイベント等で販売と合わせながら実施しています。
- ③ 「光ヶ原高原の受託事業」光ヶ原高原観光の拠点として、信越トレイルクラブ、ゑしんの里やすらぎ荘等との連携を図り、アクセス、通信網の不備な点があるものの、信越トレイルビジターセンターとして、マニア向けに特化した方向で活動しました。
- ・年々信越トレイルのお客様が増え、グリーンパル光原荘への立ち寄りも増え、今後に期待です。
 - ・グリーンパル光原荘での「レストラン営業」は、夏の天候に恵まれず、また、紅葉時の10月の大雨による地滑りが発生し、休業せざるを得ない状況で、計画を未達成でした。夏祭り等イベントの企画、食事メニューの開発による活性化に努力します。

④ 収支と全体評価

収支面で前年と比較

売上高	37,608 千円(△ 5,440 千円)
売上原価	5,899 千円 (△ 1,022 千円)
人件費	21,121 千円 (430 千円)
その他経費	11,858 千円 (△ 1,039 千円)
経費合計	38,877 千円 (△ 1,631 千円)
純利益	△1,496 千円 (△ 3,790 千円)

*別紙1、「収支状況書」をご確認ください。

評価

- 忍しんの里記念館は、東西本願寺に於いて、大きな行事が無く、その影響か団体参拝客が減少した。加えて活動不足、力不足から、多目的ホールのイベント、和室の宴会会議利用が少なく、来場者が前年より大きく減じた。△2,162人(累計8,571人)と開館以来初めて1万人を割り込み、力不足を痛感しています。

売上面では、レストラン、宴会、ショップ共に伸び悩み、△2,065千円、全体では、指定管理料の△3,645千円と合わせて、△5,710千円となりました。

入館者、収益とも最悪の中、経費を削減し、当期純益△1,003千円がせめてもの評価です。

- いたくら亭においては、板倉そばのブランド化を念頭に活動し、前年比較入込が146人(累計14,068人)であった。売上では、新メニュー開発による、単価のアップ、イベント等の入込増で680千円(累計15,779千円)増と売上を確保できたが、パート賃金の増、設備の老朽化による賃借料の更新等により、利益が減少した。△201千円(累計386千円)

- 光ヶ原高原観光受託業務については、信越トレイルビジターセンターの管理運営を中心に活動しました。10月の大雨で地滑りがあり、日数が短縮となりましたが、事故無く終了しました。

「光ヶ原夏まつり」(夏まつり実行委員会主催)「婚活イベント」(賑わい創出実行委員会)を中心に実施され、賑わいを創出するイベント企画で盛り上げました。(来場者数2,000人)

レストラン営業は、夏の天候に左右され、紅葉シーズンの大雨と厳しい状況でしたが、378千円(累計1,426千円)人員配置の割には大きく不足です。

全体を通して、力不足と、活動不足が厳しい結果となって表れました。

「現況組織等」

- i 基本財産 30,000,000 円
- ii 評議員 6名 平井達夫、古海正雄、樋口隆史、高橋恵美、野口一幸、保坂勝士
- iii 理事 10名 理事長：渡邊信夫、理事：細井良一、鈴木孝雄、小林正男、田中睦夫、山本正男、古海誠一、中嶋隆一、古澤公男、宮下利雄
- iv 監事 2名 宮本武夫、市村公誠
- v 公社職員 正職員 2名、パート職員 7名（そば打ち、季節パートは除く）
- vi 指定管理委託料 13,275 千円（ゑしんの里記念館）
- vii 事業受託料 2,271 千円（光ヶ原高原）
- viii 観光補助金 400 千円（観光公社）

「理事会・評議員会、監査会等」

- i 監査会 R1.5.13
- ii 第 83 回 理事会(H31.4.15)
【内容】・ゑしんの里観光公社の役員体制について
第 84 回 理事会 (R1.5.15)
【内容】・平成 30 年度事業報告及び収支決算書承認に関する件
 - ・令和 1 年度 役員体制について
 - ・その他第 85 回理事会 (R1.7..18)
【内容】・役員業務について
 - ・その他第 86 回理事会 (R1.9..27)
【内容】・令和 1 年度上半期事業、収支実績の報告
 - ・役員業務について
 - ・事務局長人事について
 - ・その他第 87 回理事会 (R2.3.19)
【内容】・令和 1 年度収支見通しについて
 - ・令和 2 年度事業計画、収支計画の決定に関する件
 - ・令和 2 年度 役員体制に関する件
 - ・事務局長人事について
 - ・その他
- iii 第 70 回評議員会 (R1.5.16)
【内容】・平成 30 年度事業報告及び収支決算書承認に関する件
 - ・任期満了に伴う役員(理事、監事)の選任について
 - ・その他

第71回評議員会 (R2.3.23)

【内容】・役員辞任に伴う役員補欠(理事)選任について

- ・令和1年度収支見通しについて
- ・令和2年度事業計画、収支計画の決定に関する件
- ・事務局長人事について
- ・その他

vi 月次経営状況報告会(社内)

【内容】経営状況の確認と対応(経営ブレイン)

令和1年4月22日、5月9日、6月21日、7月25日、9月25日
12月20日、2月20日、3月23日

(2) サービス向上

- ・お客様を主役とした接客や電話対応では、当たり前のことを出来るように言葉使いに注意を払って対応しています。
- ・館内外の修繕・清掃に気づかい清潔感ある施設を心がけています。
- ・苦情につきましても、すぐに対処できるものは迅速に対応し、大きな改善が必要な事案は、市へ報告協議しています。いずれにしましてもお客様へのご迷惑を最小限に考えています。

(3) 経費の削減

- ・問題点を早期に見つけ出し、経費支出を最小限に抑えることに努めています。
- ・お客様目線で職員のコスト意識を高め、無駄の排除に取り組んでいます。

(4) 危機管理体制

- ・緊急連絡体制による連絡の統一。
- ・防火管理組織による初期消火、避難誘導、救護体制を確認のため火災訓練を実施。
- ・1月からは、新型コロナウイルス対策が中心です。

(5) 衛生管理

- ・食品衛生責任者のもと、手洗いや食材管理の徹底に努めています。
- ・従業員の検査等でも異常は認められておりません。
- ・保健所や食品衛生協会の巡回も適切に対応しております。
- ・1月からは、新型コロナウイルス対策が中心です。

(6) 盗難防止体制

- ・盗難防止、設備保安のため、民間警備会社(新潟総合警備保障)に委託しています。
- ・日々の売上金は、銀行に預け入れ、釣銭等小額の現金は金庫に保管しています。

(7) 運営活動

- ・板倉観光面の発信に努力していますが力不足、活動不足です。

- ・収益向上に向けて、利用を増やすためにイベント等を実施しています。
- ・記念館、いたくら亭、グリーンパルレストランいずれも食品衛生管理には注意を払っており、接客対応も職員には指導教育を実施しています。

(8) 利用者の状況

① ぬしんの里記念館

- ・年間計画／11,000 人に対し、利用人数は 8,571 人で△2,429 人の未達成でした。
- ・活動不足によるイベント、宴会、の落ち込みが大きく減りました。

② いたくら亭

- ・年間計画／14,500 人に対し、利用人数は 14,068 人で、△432 人の未達成でした。
- ・来店者未達成ながらも、メニュー開発、イベント等で収益は増加しました。

③ 光ヶ原高原(レストラン)

- ・年間計画／2,000 人に対し、上期の利用人数は 1,205 人で、△795 人の未達成です。
- ・イベント等の PR もお客様に届かず、夏場の天候不順、10 月の地滑りが響きました、上記の通りでした。

*別紙 2 「入込等の状況」をご確認ください。

(9) その他

- | | |
|------------|----------------------------|
| ・イベント状況 | *別紙 3 「自主事業実施状況書」をご確認ください。 |
| ・公社施設の修繕箇所 | *別紙 4 「修繕の実施状況書」をご確認ください。 |
| ・苦情処理等 | *別紙 5 「苦情処理等の状況書」をご確認ください。 |

令和元年度 一般財団法人 糸しんの里観光公社 収支状況書

(期間: 令和元年4月1日～令和2年3月31日)

単位: 円

	項目	当初年度計画	実施状況	差 引	説 明
収入	基本財産運用益	300,000	363,000	63,000	基本財産運用益
	指定管理料	13,275,000	13,275,000	0	指定管理料
	市事業補助金	400,000	400,000	0	観光事業補助金
	管理業務受託料	2,500,000	2,271,212	-228,788	光ヶ原高原管理委託料
	記念館収入	6,405,000	3,432,289	-2,972,711	レストラン・宴会・売店
	いたくら亭収入	15,600,000	15,779,062	179,062	レストラン・そば打ち体験
	光ヶ原レストラン収	2,000,000	1,425,920	-574,080	レストラン(流しそうめん)
	その他部門売上	1,200,000	407,405	-792,595	オリジナル商品
	雑収入	560,000	254,891	-305,109	・雑収入
	売上高 計	42,240,000	37,608,779	-4,631,221	
売上原価	期首棚卸高	3,239,011	3,239,011	0	
	商品仕入れ高	7,500,000	5,935,065	-1,564,935	
	期末棚卸高	3,239,011	3,275,531	36,520	
	売上原価	7,500,000	5,898,545	-1,601,455	
	売上総利益(粗利)	34,740,000	31,710,234	-3,029,766	
人件費	正規職員	6,700,000	5,484,752	-1,215,248	
	賞与	1,000,000	666,000	-334,000	
	臨時職員	12,300,000	13,698,689	1,398,689	
	法定福利費	1,200,000	856,537	-343,463	
	福利厚生費	400,000	414,369	14,369	
	人件費 計	21,600,000	21,120,347	-479,653	
	旅費交通費	100,000	53,060	-46,940	営業旅費交通費
	販売促進費	20,000	0	-20,000	クーポン券等
	通信運搬費	330,000	402,359	72,359	電話、インターネット、郵送料
	広告宣伝費	250,000	656,392	406,392	掲載料、チラシ作製・折込・冊子広告
	消耗品費	950,000	963,451	13,451	厨房、事務用品
	賃借料	750,000	727,868	-22,132	リース料
	保険料	180,000	155,340	-24,660	保険掛金
	自動車費	300,000	398,604	98,604	車検、定期点検、燃料、修繕
	修繕費	200,000	56,144	-143,856	施設小修繕
	委託費	2,200,000	2,113,410	-86,590	施設管理委託料、会計等
	イベント費	100,000	146,390	46,390	各種イベント諸費用
	租税公課	1,530,000	1,315,300	-214,700	消費税
	減価償却費	100,000	4	-99,996	
	電気代	3,910,000	2,981,695	-928,305	
	上下水道	660,000	591,187	-68,813	
	ガス代	970,000	820,562	-149,438	
	燃料	90,000	77,272	-12,728	暖房用灯油
	雑費	320,000	397,990	77,990	
	その他軽費 計	12,960,000	11,857,028	-1,102,972	
	販売・一般管理費計	34,560,000	32,977,375	-1,582,625	
	営業利益	180,000	-1,267,141	-1,447,141	
	営業外費用	0	102,810	102,810	いたくら亭土地利息
	経常利益	0	-1,369,951	-1,369,951	
	特別損益	0	0	0	
	法人・住民・事業税	180,000	125,601	-54,399	
	当期純利益	0	-1,495,552	-1,495,552	

令和元年度 一般財団法人 糸しの里観光公社 各事業所利用状況書

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

令和元年度 糸しの里記念館入込等の状況

単位:人、円、件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数		679	939	1,396	707	686	802	712	997	320	188	391	754	8,571
	小学生以下	28	36	39	37	3	39	7	25	3	1	6	26	250
	中学生以上	594	903	1,357	653	668	746	696	948	317	187	385	728	8,182
	17:00以降	57			17	15	17	9	24					139
ホール	件数	2	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	9
	人数	60	0	82	102	14	16	0	71	0	0	0	0	345
	利用入金額(a)	¥5,550	¥0	¥24,420	¥21,090	¥0	¥2,220	¥0	¥1,110	¥0	¥0	¥0	¥0	¥54,390
	(減免分) 件数													0
(減免分) 人数													¥0	
(減免分) 減免の額													0	
和室	件数	14	5	12	10	10	16	10	11	8	4	12	8	120
	人数	63	46	256	181	180	136	106	137	107	40	94	76	1,422
	利用入金額(b)	¥13,650	¥4,950	¥13,950	¥13,650	¥15,750	¥18,900	¥10,200	¥12,600	¥8,250	¥3,450	¥8,850	¥6,750	¥130,950
	(減免分) 件数						2							2
(減免分) 人数						63							63	
(減免分) 減免の額						¥2,400							¥2,400	
施設利用料金 計(a+b)		¥19,200	¥4,950	¥38,370	¥34,740	¥15,750	¥21,120	¥10,200	¥13,710	¥8,250	¥3,450	¥8,850	¥6,750	¥185,340

令和元年度 いたくらす亭入込等の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いたくらす亭 合計		1,173	1,733	1,100	1,259	1,702	1,257	1,018	1,470	879	688	919	870	14,068
食堂		1,167	1,733	1,100	1,259	1,694	1,249	1,018	1,470	879	688	917	870	14,044
そば打ち体験	件数	1件				2件	2件					1件		6件
	人数	6				8	8					2		24

令和元年 光ヶ原高原レストラン入込等の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
レストラン					71	904	230							1,205

令和元年度 一般財団法人 糸しの里観光公社 自主事業実施状況書
(期間:令和元年4月1日～令和2年3月31日)

(単位:人)

月 日	自主事業名	目 的	場 所	参加人数	備 考
4月20日～ 5月6日	えちごえっさ上越 「土屋 始彦 スケッチ展」	○ 文化交流の場の提供と記念館PR ・上越周辺の身近な風景や人物のスケッチを展示 ・第2弾として高田・直江津地区を中心に展示	記念館	期間中の 来館者 357人	期間中 ・食堂売上 46千円 ・売店売上 51千円
5月18日～ 5月19日	山菜そばまつり	○ 板倉そばのPRといたくら亭売上増進 ・採りたての山菜天ぷらを中心に味を賞味。	いたくら亭	203人	期間中 ・食堂売上 252千円
5月26日～ 6月9日	「ヨコタ ミノルライン画展」	○ 文化交流の場の提供と記念館PR ・身近な風景や人物、動植物の鉛筆等によるライン 画を展示	記念館	期間中の 来館者 1,008人	期間中 ・食堂売上 52千円 ・売店売上 169千円
6月21日～ 7月15日	「西山 英夫 昭和の風景 切り絵展」	○ 文化交流の場の提供と記念館PR ・切り絵の素晴らしさと昭和の時代の人、物の切り絵を 展示	記念館	期間中の 来館者 786人	期間中 ・食堂売上 237万円 ・売店売上 177万円
7月20日～ 7月21日	寒晒しそばまつり	○ 板倉そばのPRといたくら亭売上増進 ・冬の寒期に冷水で晒した蕎麦の実を暑い夏の季節に 提供。雑味がなくすっきりとした味を賞味。	いたくら亭	135人	期間中 ・食堂売上 204千円
7月28日～ 8月18日	光ヶ原高原 冬 季キャットツアー写真展	○ 観光事業の振興と光ヶ原のPR ・写真パネルの展示による光ヶ原高原の冬期スポーツと 雄大な自然を紹介	記念館	期間中の 来館者 495人	期間中 ・食堂売上 58千円 ・売店売上 106千円
6月7日	【協力事業】 恵信尼様法要 (国府別院)	○ 地域活性化と交流の場の提供 ・こぶしの里恵信尼さま開館にて国府別院主催の 「恵信尼様法要」 ・当記念館は協力	記念館	178人	・弁当売上 95千円 ・売店売上 17千円
7月14日	【協同事業】 糸しの里 茶会	○ 文化交流の場の提供 フカミ美術との共催イベント。 ・薄茶席 裏千家 ・薄茶席(立礼)江戸千家の茶会	記念館	230人	・点心売上 192千円 ・売店売上 72千円
月 日	自主事業名	目 的	場 所	参加人数	備 考
8月3日	【協同事業】 板倉区婚活イベント	○ 地域活性化と交流の場の提供 光ヶ原高原にぎわい創出実行委員会との共催イベント ・14:30記念館アトラクション ・17:40光ヶ原高原夕日と星空の下で交流会	記念館	38人	
8月10日～ 8月11日	【協賛事業】(事務局) 光ヶ原高原 夏まつり	○ 地域活性化と光ヶ原高原PR 光ヶ原夏まつり実行委員会との協賛イベント ・吹奏楽、ジャズバンド、ドローンのデモ飛行、 カイト、連風揚げのアトラクション。屋台村多数出店で にぎわい創出。期間中の来場者 2,000人	光ヶ原 高原セン ター周辺	期間中の 光原レスト ラン 164人	期間中の光原荘レストラン ・食堂売上 183千円
9月15日	光ヶ原高原 お花見そば祭り	○ 板倉そばと光ヶ原高原霧下そばのPR ・光ヶ原高原に植栽のそば畑(8ヘクタール)のそばの 花を見学の後、光原荘レストランでそばを賞味	光ヶ原高 原光原荘 レストラン	149人	・そば他 148千円
10月19日	親鸞・恵信尼ゆかりの 地を巡る旅	○ 五智歴史の里会館、高田寺町ボランティア、当公社 の3地区による合同企画 ・3地区で共通性のある 親鸞・恵信尼ゆかりの地を巡 る 旅と題して誘客を狙いバスツアーを実施しました。	-	38人	・記念館の立ち寄りなし
11月3、4日	新そばまつり	○ いたくら亭イベント企画 ・今年、光が原で生産した霧下そばの香りと味に堪能 してきました。	いたくら亭	259人	・食堂売上 305千
11月14日～ 18日	水彩画展示	○ 文化交流の場の提供と記念館PR ・板倉みづえの会が中心となり、水彩画の展示し多くの 来客者の方に楽しんで頂きました。	ホール	456人	期間中 ・食堂売上 52千円 ・売店売上 18千円
12月15日	討ち入り蕎麦まつり	○ いたくら亭夏のイベント企画 ・赤穂浪士の討入にちなんで1日限定で通常二八そば を上越産そば粉使用による十割そばを価格据え置き で提供	いたくら亭	94人	・食堂売上 106千円
12月22日	門松作り教室	○ 地域活性化と交流の場の提供 ・自身で門松を作成して清々しい新年を迎える準備と 交流を深めました。	ホール	16人	・材料代 31千円
月 日	自主事業名	目 的	場 所	参加人数	備 考
12月31日	年越しそば	○ 年末恒例の年越しそばの販売 ・12月1日より予約頂いた方に手打ちの年越しそばを 販売	いたくら亭	160食	・食堂売上 112千円
2月22、23日	寒晒しそばまつり	○ いたくら亭のイベント企画 ・一番寒い「寒」の時期にさらし甘味のましたそして 香り高いそばに舌突きを打って頂きました	いたくら亭	138人	・食堂売上 215千円
3月1日～ 29日	平丸スゲ細工展	○ いたくら亭のイベント企画 ・毎月のイベントとして毎月第4土曜日限定でそば好き にはたまらない十割そばを提供	記念館	560人	期間中 ・食堂売上 49千円

令和元年度財務諸表

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月 31日

新潟県上越市板倉区米増27番地4

一般財団法人 ゑしんの里観光公社

理事長 渡邊 信夫

貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

一般財団法人 えしんの里観光公社

単位：円

資産の部	借 方			負債の部	貸 方		
	当年度	前年度	増減額		当年度	前年度	増減額
1. 流動資産				1. 流動負債			
現金及び預金	4,814,431	8,047,952	△ 3,233,521	買掛金	230,224	379,189	△ 148,965
売掛金	13,948	1,200	12,748	未払金	603,904	584,832	19,072
未収入金	428,474	430,326	△ 1,852	預り金	24,580	50,044	△ 25,464
立替金	0	0	0	未払法人税等	70,000	70,000	0
商品	2,357,882	2,309,968	47,914	未払消費税等	618,700	663,900	△ 45,200
原材料	917,649	929,043	△ 11,394				
流動資産合計	8,532,384	11,718,489	△ 3,186,105	流動負債合計	1,547,408	1,747,965	△ 200,557
2. 固定資産				2. 固定負債			
有形固定資産				長期未払金	7,450,000	8,940,000	△ 1,490,000
建物	2	6	△ 4	固定負債合計	7,450,000	8,940,000	△ 1,490,000
什器備品	150,008	150,008	0	負債合計	8,997,408	10,687,965	△ 1,690,557
建設仮勘定	14,920,000	14,920,000	0				
基本財産				正味財産の部	当年度	前年度	増減額
基本財産	30,000,000	30,000,000	0	正味財産	44,665,781	46,161,333	△ 1,495,552
その他の資産				(うち基本金)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
電話加入権	60,795	60,795	0	(当期指定正味財産増加額)	(0)	(0)	(0)
				(当期一般正味財産増加額)	(△ 1,495,552)	(2,295,784)	(△ 3,791,336)
固定資産合計	45,130,805	45,130,809	△ 4				
資産合計	53,663,189	56,849,298	△ 3,186,109	負債・正味財産合計	53,663,189	56,849,298	△ 3,186,109

脚注：有形固定資産減価償却累計額

2,552,656円

正味財産増減計算書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月 31日

一般財団法人 えしんの里観光公社

単位：円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産運用益収入	363,000	363,000	0
② 積立預金収入			
預金利息収入	80	88	△ 8
③ 受取寄付金			
記念館来館時寄付収入	20,000	40,000	△ 20,000
④ 受取補助金等			
記念館指定管理委託収入	13,275,000	16,920,000	△ 3,645,000
観光公社補助金等収入	400,000	400,000	0
光ヶ原高原管理委託等収入	2,271,212	2,088,504	182,708
⑤ 事業収益			
いたくら亭収益	15,777,181	15,094,053	683,128
記念館収益	3,693,748	6,236,369	△ 2,542,621
光ヶ原高原収益	1,425,920	1,047,250	378,670
イベント事業収益	70,660	254,970	△ 184,310
その他収益(雑収益)	311,978	604,214	△ 292,236
経常収益計	37,608,779	43,048,448	△ 5,439,669
(2) 経常費用			
① 管理費			
職員給与	1,096,900	1,108,400	△ 11,500
賞与	133,200	100,320	32,880
法定福利費	171,300	206,700	△ 35,400
福利厚生費	194,800	212,320	△ 17,520
租税公課	1,293,800	1,350,600	△ 56,800
寄付金	17,000	22,000	△ 5,000
② 事業費			
仕入原価	5,898,545	6,920,320	△ 1,021,775
職員給与	4,387,852	4,433,629	△ 45,777
賞与	532,800	401,280	131,520
臨時職員給与	13,698,689	13,254,900	443,789
法定福利費	685,237	827,166	△ 141,929
福利厚生費	219,569	145,283	74,286
通信運搬費	402,359	415,146	△ 12,787
消耗品費	963,451	1,097,526	△ 134,075
広告宣伝費	656,392	414,909	241,483
租税公課	21,500	11,700	9,800
保険料	155,340	165,640	△ 10,300
委託費	2,113,410	2,177,131	△ 63,721
イベント費	146,390	366,244	△ 219,854
賃借料	727,868	373,969	353,899
自動車費	398,604	387,522	11,082
修繕費	56,144	101,024	△ 44,880
水道光熱費	4,470,716	5,599,002	△ 1,128,286
減価償却費	4	121,109	△ 121,105
雑費	434,050	293,280	140,770
経常費用計	38,875,920	40,507,120	△ 1,631,200
当期経常増減額	△ 1,267,141	2,541,328	△ 3,808,469
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
支払利息	102,810	119,945	△ 17,135
固定資産除却損	0	2	△ 2
経常外損益計	△ 102,810	△ 119,947	17,137
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,369,951	2,421,381	△ 3,791,332
法人税・住民税・事業税等	125,601	125,597	4
当期一般正味財産増減額	△ 1,495,552	2,295,784	△ 3,791,336
一般正味財産期首残高	16,161,333	13,865,549	2,295,784
一般正味財産期末残高	14,665,781	16,161,333	△ 1,495,552
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	44,665,781	46,161,333	△ 1,495,552

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税の会計処理

消費税の会計処理については、税込経理を採用しております。

(2) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、売掛金、未収金・未払金、前払金・前渡金、立替金・預り金及び有価証券・短期借入金を含めております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、平成15年4月1日以後に取得した取得価額30万円未満の資産については、取得時に費用処理しています。

4. 会計方針の変更

特になし

5. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	30,000,000	0	0	30,000,000
合 計	30,000,000	0	0	30,000,000

6. 担保に供している資産

なし

7. その他

平成25年度より、旧財団法人より一般財団法人へ移行認可を受けております。

財 産 目 録

令和 2年 3月31日

一般財団法人 糸しんの里観光公社

単位：円

科 目	金 額	備 考
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金 手許有高	263,044	
普通預金 ゆうちょ銀行		財団一般会計
口座番号 11200-11416951	1,000	
第四銀行/板倉支店		財団一般会計
口座番号 1041662	291,329	
第四銀行/板倉支店		いたくら亭
口座番号 1094452	1,472,185	
第四銀行/板倉支店		記念館
口座番号 1099926	1,442,229	
第四銀行/板倉支店		その他
口座番号 1099919	1,199,912	
新井信用金庫/板倉支店		
口座番号 0054341	144,728	
えちご上越農業協同組合/板倉支店		
口座番号 0057645	4	
	4,551,387	
商 品 別紙棚卸表参照	2,357,882	
原 材 料 別紙棚卸表参照	917,649	
売 掛 金 別紙科目明細表参照	13,948	
未 収 入 金 別紙科目明細表参照	428,474	
流動資産 合計		8,532,384
2. 固定資産		
有形固定資産		
建 物 別紙明細表参照	2	
什 器 備 品 別紙明細表参照	150,008	
建設仮勘定	14,920,000	
	15,070,010	
その他の固定資産		
基 本 財 産 第四北越証券(株) CSI日経平均連動債	30,000,000	
電 話 加 入 権 0255-81-4720	60,795	
固定資産 合計		45,130,805
資 産 合 計		53,663,189
II. 負債の部		
1. 流動負債		
買 掛 金 別紙科目明細表参照	230,224	
未 払 金 別紙科目明細表参照	603,904	
預 り 金 別紙科目明細表参照	24,580	
未払法人税等 確定法人県市民税等	70,000	
未払消費税等 確定消費税及び地方消費税額	618,700	
流動負債 合計		1,547,408
2. 固定負債		
長 期 未 払 金 別紙科目明細表参照	7,450,000	
固定負債 合計		7,450,000
負 債 合 計		8,997,408
正 味 財 産		44,665,781

監査報告

一般財団法人 糸しんの里観光公社

理事長 渡邊 信夫 様

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度事業年度における監査を行い、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2、監査の結果

- ① 事業報告及び、その附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、法人の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- ③ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和2年5月8日

一般財団法人 糸しんの里観光公社

監事

宮本 武夫



監事

市村 公誠



令和2年度

一般財団法人 急しんの里観光公社
事業計画書及び収支予算書

一般財団法人 急しんの里観光公社

I 事業計画書

1 全般的な管理運営について

(1) 設置目的に対する管理・運営

【観光公社】

HPを最大限活用し、情報発信を行い、板倉の各観光施設の認知度アップを図ります。当地区のみでなく幅広く紹介し、隣接する他地区との連携も図った企画を実施し、交流人口の増加を目指します。

*板倉観光施設の認知度アップのため、板倉観光周辺観光パンフレットを作成し、集客増を図る。

*各事業においては収支バランスの取れる活動強化を図る。

*効率的な運営を心掛けるとともに、環境負荷の低減と各施設の保全に努め、メリハリのある運営費の支出に努める。

*条例や法令等に基づき、円滑な運営及び適切な維持管理に努める。

*利用者の平等利用の確保に努め利用者に対して不当な差別的扱いは行わない。

【ゑしんの里記念館】

本年10月の恵信尼750回忌に向け、情報発信に努め、親鸞・恵信尼の関係団体及び市、区の各種団体と連携を深め、来館者の増加を図ります。

*地域の賑わい創出のための自主事業及び各種団体と連携した事業を実施する。

*市民の各種団体の発表の場として、宴会、法要等地域住民の利用促進を図り、多目的ホール、和室等を利用し賑わいを創出する。

*現在設置されている展示資料について、より解りやすく紹介し、情報を全国に発信することで、遠来の来館者の満足度の充実を図る。

*地元の特産品の販売等を通じ、農業などを含めた総合的な地域の情報発信に努める。

*自然・風光明媚なゑしんの里記念館の諸設備維持に細心の注意を払い、来館者に安らぎを感じさせる施設となるよう取り組む。

【そば処 いたくら亭】

安定的な収益確保に努め、他事業の助成ができるよう活動致します。

*中山間地域のそば生産者との協力体制の下に、地域特産品としての板倉そばの確立を図ります。

*いたくら亭にあっては、そば打ち体験施設を維持しつつ、そば専門店として地域の食の一角を担い、地域一番店を目指す。

【光ヶ原受託事業】

*光ヶ原高原の受託事業の運営に当たっては、アクセス、通信網の不備な点を考慮

し、信越トレイル等マニア層向けに特化した方向で活動する。

- * 上越飯山線県道改良促進のため関係団体並びに令和元年度に設立した任意団体「光ヶ原高原ファンクラブ」と連携して光ヶ原高原の活性化を推進する。

(2) サービス面の向上について

満足度の高い情報をより早くしかも正確に提供することがサービスの基本として捉え、行き届いたおもてなしと説明ができるよう知識の習得に努めます。

- * 施設設備の安全と保守管理を励行し、来館者へ不快・不安な感じを抱かせないように努める。
- * 職員各自が危機管理意識を持ち、不測の事態に対し遅滞なく対応できるように努める。
- * アンケート（お客様の声）の回収精度を高め、サービス向上の糧とします。

(3) 経費の縮減について

どのような状況であっても、経費の縮減は基本、メリハリのある支出を実行します。

- * 計画（予算）精度を高め、無駄の支出を未然に防ぐ。
- * 問題点を早期に見つけ出し、経費の支出を最小限に抑える。
- * 日常の活動においての光熱費等の縮減を徹底する。

(4) 施設の利用促進について

HPを活用し、観光情報の発信により、ゑしんの里記念館や光ヶ原、信越トレイル等への集客を図ります。

・ 記念館においては、本年10月の恵信尼750回忌に向け、情報発信に努め、親鸞、恵信尼の関係団体及び市、区の各種団体と連携を深め、来館者の増加を図ります。

市民のコミュニティ活動の場として、施設情報を発信し、芸術展、講演会、講習会、音楽祭、映画鑑賞等の開催を促進します。

- * バス観光業者に対し、施設を「昼食会場」として活用いただけるよう営業促進。
- * レストランメニューの見直しと開発
- * ショップ商品の開発と見直しによる売り上げの増進。

・ いたくら亭においては、そば打ち体験施設を維持しつつ、そば専門店として地域の食の一角を担い、地域一番店を目指す。

・ 光ヶ原高原においては、上越飯山線県道改良促進のため関係団体並びに令和元年度に設立した任意団体「光ヶ原高原ファン倶楽部」と連携して光ヶ原高原の活性化を推進する

- * レストランメニューの開発。

(5) 目標とする施設利用者数

- | | |
|--------------|----------|
| ① 記念館 一般入館数 | 12,500 人 |
| 自主事業の参加者数 | 2,000 人 |
| ② いたくら亭 | 15,200 人 |
| ③ 光が原高原レストラン | 2,300 人 |

2 管理運営について

(1) 従業員の配置等 (シフト制を採用)

① 正規従業員の配置について

* 事務局長 1人 総括管理、営業、記念館施設設備管理

* 事業担当 1人 宴会調理、施設設備管理、情報発信、除雪

② パート従業員の配置について

* 事務職員 1人 経理、労務、受付

* 受付担当 1人 受付、接客、売店販売

* 調理担当 5人 調理、接客、宴会

③ 季節等従業員の配置について

* 光ヶ原レストラン 4人 夏季の調理、接客、

* 光ヶ原グリーンパル高原荘 4人

④ 屋外整備 4人 環境整備 (樹木管理-囲い・草刈・庭園管理)

(2) 管理方法について

① 施設の管理について

* 施設は、公社職員が責任を持って管理する。

* 施設を管理する業務において、次の管理者を置く。(別紙 2のとおり)

・ 防火管理者 ・ 食品衛生管理者 ・ 酒類販売管理者

② 委託業務について

* 業務の内容で、公社に資格を有する者がいない下記業務について資格を有する事業者へ委託する。(別紙 3のとおり)

・ 消防設備点検 ・ 清掃業務 ・ 警備業務 ・ 空調設備保守点検

・ 自動ドア保守点検 ・ 電気設備保安管理業務 ・ ごみ処理業務

・ HP 維持管理業務 ・ 経理会計業務 ・ 池ろ過装置点検業務

③ 委託業務の管理

* 日常業務においての注意点、留意点を点検時に相方で確認し合い、委託業務先との信頼関係を築く。

* 業務完了報告に基づく改善点等は、市と協議し、設備の故障など事前に防ぐようにする。

(3) 安全対策について

① 安全対策の基本は、危機管理マニュアルに基づく管理とする。

* 定期的な施設の巡回により事故等の未然防止。

* 製造物責任法及びハートビル等の法律確認と意識活動。

② 安全点検

* 消防設備点検 年2回(2月・9月)

* 連動制御設備(防火シャッター・防火扉) 年2回(2月・9月)

* 自動ドア保守点検 年2回(2月・9月)

* 電気設備点検 年6回(偶数月)

* 空調設備点検 年6回(偶数月)

* 厨房内の清掃による衛生管理 随時

③ 個人情報

* 全職員に個人情報保護法と上越市個人情報保護条例を順守徹底を図る

* 厳正な管理の下で保管(所定の書庫に保管管理)し紛失、破棄、改ざん、漏えい等の防止に努める。

* お客様の承認を得ずに第三者に開示・提供しない。

* 取扱いについては、適宜改善に努める。

* 定期的にPCに保存されている個人情報データを確認する。

* PC自体にアクセスされないように措置を施す。

* 職員として知り得た情報は、シュレッダー等で、廃棄するなど守秘義務の徹底を図る。

④ 関係法令の遵守

* 保守点検時に立ち会い知識の習得に努める。

* 研修会を実施し、関係法令の遵守について理解を深める。

(4) 利用時間及び休館日について

① 利用時間

* 仕様書に規定する時間とする。

* 但し、利用者の要望等により利用時間を延長する必要があるときは、要望に応える。

② 休館日

* 仕様書に規定する休館日とする。

* 但し、利用者の要望等により変更する場合は、市と協議をする。

3 サービスの向上について

(1) サービスの方策について

- *行き届いた館内の説明のための知識の習得（地域の紹介等）
- *タイムリーな情報の提供（地域集落行事の発信）
- *ショップ商品の開発（地元特産物）・見直し（価格・品数・展示状態）
- *宴会・法要等サービスの向上による地域貢献
- *レストラン・和室における食事、くつろぎ、自己研鑽の場としての多目的な利用提供できる旨のアピール
- *歴史的な事柄、周辺説明等は、板倉観光ガイドの会と連携し、説明に当る。

(2) 市民要望の把握

- *各施設の来場者の意見・要望の収集
- *アンケートの実施
（施設内にアンケートコーナーを設置し、お客様のご意見ご要望を把握する。）
- *会合等参加での情報収集
- *情報発信による市民の反応の収集
- *お客様から直接お聞きした要望などを職員で共有し把握する。

(3) 市民の苦情処理について

- *報・連・相の活用
- *苦情内容を確認し、迅速且つ適切な処理をもって誠心誠意対応する。
- *関係部署への詳細報告（発生状況、相談、処置等）。
- *苦情については、職員全員に周知、再発防止を徹底させる。

(4) 自主事業について

① 自主事業の方針

- *市民の各種団体の発表の場として、地域住民の利用促進を図り、多目的ホール、和室等を利用し芸術展、講演会、講習会、音楽祭、映画鑑賞等の開催を通じて地域コミュニケーションの場を多く提供し、賑わいを創出する。
- *施設の利用促進のため、自主事業の開催を通じ、地域の活性化と観光振興の推進を図っていく。また、マスコミの有効利用・チラシの活用・地域諸団体への協力依頼等により誘客に努めていく。

② 自主事業の開催

- *外部講師による文化講演会
- *地域在住芸実家の作品展
- *茶会、コンサート、演芸等の文化芸能イベント

*障害学習等市民参加型のイベント

*いたくら亭そば祭り 6回/年

4 施設の修繕について

*記念館：平成17年のオープンであり、細かな修繕が発生しています。施設の景観を保ち設計コンセプトを損なわないように管理します。

*いたくら亭：年代物の建物であり大事に使いたい、予防処置に重点を置きます。

*突発的、大規模な修繕が発生したときは、市と協議します。

II 収支計画

1 令和2年度の収支計画書

別紙 1のとおり

令和2度 一般財団法人 ゑしんの里観光公社 収支予算書

一般財団法人 ゑしんの里観光公社

単位：千円

項 目		金 額	備 考	
収 入	指定管理委託料	13,110	市からの指定管理料	
	受託事業収入	2,000	光ヶ原高原管理	
	市補助金	400	情報発信活動	
	ゑしんの里記念館収入	6,200	レストラン、宴会、売店等	
	いたくら亭収入	16,100	そば店、そば打ち体験等	
	光ヶ原レストラン収入	2,000	レストラン、	
	その他収入	500	ガイド料他雑収入等	
合計		40,310		
支 出	人 件 費	正規職員	8,930	職員給与（社会保険料等含）
		臨時職員	12,600	臨時職員（福利厚生費含）
		計	21,530	
	そ の 他 経 費	原材料費（仕入）	6,890	食材、販売品購入費
		旅費	50	
		通信運搬費	400	電話料、郵送料、運賃
		広告宣伝費	450	冊子広告、チラシ印刷等
		消耗品費広	930	事務、レストランの消耗品費
		賃借料	730	使用料及び器具リース料
		保険料	170	損害保険、車両保険
		自動車費	380	車検、燃料等
		修繕費	200	小規模修繕費
		委託費	1,900	建物設備各種保守点検、会計
		イベント費	100	各種イベント
		租税公課	1,600	消費税、印紙等、事業税等
		減価償却費	100	
		電気代	3,000	
		上下水道代	570	
		ガス代	900	
		燃料代	90	暖房用灯油
	雑費	320	各種会費、振込手数料等	
計	18,780			
合計		40,310		
収支差額		0		